



2012年10月2日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 畑中 好彦
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東 証 ・ 大 証 (各 第 一 部)
決 算 期 3月
問 合 せ 先 広報部長 河村 真
Tel : (03) 3244-3201

アステラス製薬 経口 JAK 阻害剤 ASP015K の免疫疾患を対象とした開発・商業化に関する ヤンセン・バイオテック社とのライセンス契約締結のお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、このたび、米国ヤンセン・バイオテック社（英名：Janssen Biotech, Inc.、以下「ヤンセン」）と、当社が創製した ASP015K について、日本を除く全世界（以下、「提携地域」）を対象とする独占的開発権・商業化権のライセンス契約を締結しましたので、お知らせします。

ASP015K はアステラス製薬が関節リウマチを対象疾患として開発を進めている、新規の経口 JAK (Janus Kinase) 阻害剤です。ASP015K については、これまでに乾癬患者を対象とした前期第 II 相臨床試験（Proof of Concept 試験、6 週間投与）で良好な忍容性が確認され、ベースラインと比較した PASI スコア (Psoriasis Areas Severity Index) の用量依存的な改善効果が示されました。現在、関節リウマチ患者を対象とした合計 3 つの後期第 II 相臨床試験を米国/欧州、日本で実施中です。

本契約に基づき、ヤンセンは提携地域における ASP015K の独占的開発権・商業化権を取得します。アステラス製薬は、ヤンセンより契約締結時の一時金 65 百万ドルを当期 (2013 年 3 月期) に受け取ります。それに加えて、最大で 880 百万ドルの開発・商業化の進展に応じたマイルストーンを受け取る可能性があります。またアステラス製薬は、ヤンセンより、提携地域での ASP015K の売上に対する二桁台のロイヤリティを受け取ることになります。ヤンセンは、提携地域における後期第 II 相臨床試験の完了後、ASP015K の提携地域における関節リウマチ及び他の自己免疫疾患を対象疾患とした、開発・商業化に係る全ての費用を負担します。なお、アステラス製薬は今後も日本における ASP015K の開発、商業化を継続していきます。

アステラス製薬は、このたびのライセンス契約締結を通じて、自己免疫疾患領域における主要製品の開発・商業化に大きな実績があるヤンセンと提携することで、ASP015K の価値が最大化されることを期待します。また、アステラス製薬は、従来より研究開発への資源配分の最適化に取り組んでおり、今回の決定はその一環です。

なお、このたびのライセンス契約締結による当期 (2013 年 3 月期) の業績予想の変更はありません。

以 上